



## ザ・リョカンコレクションとの交流会開催

30名以上が参加

2017年10月16日、京都の「レストランひらまつ 高台寺」にて第2回ザ・リョカンコレクションとの合同勉強会・懇親会が開催されました。レ・クレドール ジャパンからは12名、ザ・リョカンコレクション加盟施設より19名様が参加し、特別ゲストとして清水寺の執事補 大西様、世界文化社の家庭画報国際版編集長 鈴木様、三井住友トラストクラブ ダイナースクラブインターナショナル カードサービス推進本部 提携サービス企画部長 クック様をお迎えいたしました。

合同勉強会に先立ち、本年9月23日にオープンされたばかりの同じ敷地に建つ料亭「高台寺 十牛庵」を案内していただきました。名工による数寄屋建築と京都市指定登録文化財に指定される名園が美しい料亭では、季節感あふれる京料理がいただけるのとことで、色づき始めた紅葉を眺めながら、お客様にご案内することを想定したメンバーから、多くの質問がなされ、たくさんの有益な情報を得ることが出来ました。

合同勉強会では、レ・クレドール ジャパン プレジデントの住吉からのご挨拶に続き、ザ・リョカンコレクション代表の福永様より、2回目の合同勉強会にあたり、前回参加者から挙がった、さらに連携を強めたいという意見を踏まえて今回の開催となったこと、この会がより良いサービスの提供に繋がるように願っている等のお話をいただきました。今回の勉強会では、ザ・リョカンコレクション加盟施設様のウェブサイトには未掲載のユニークなセリングポイントの紹介がございました。各施設、自慢のアクティビティや体験プランなど盛りだくさんで、個性的なものも多く、大変興味深くお話を伺うことが出来ました。ウェブサイトや印刷物でのご案内より、各施設様を身近に感じることが出来、とても有意義な勉強会でした。

懇親会では、京都出店となるレストランひらまつ(本年9月19日オープン)のフランス料理をいただきながら、和やかな雰囲気の中、各テーブルで活発な意見交換が行われました。会の途中で京都コンベンションビューロー様ご協賛の祇園の芸舞妓が登場し、艶やかな舞を披露、会場は一気に古都の雰囲気に包まれました。

素晴らしい食事を堪能した後は、デザートをいただきながら、思い思いに名刺交換や情報交換を続けましたが、楽しい時間はすぐに過ぎ、名残惜しい気持ちとともに閉会となりました。



日々の現場では、日本独自の宿泊施設である旅館に関するご依頼やご質問は益々増える傾向にございます。このような時期に、素晴らしい旅館が加盟されているザ・リョカンコレクション様との合同勉強会・懇親会に参加できましたこと、大変嬉しく思っております。このご縁を大切に、是非、今後のご案内に活かしていきたいと思っております。(山田裕美)

## 創立20周年記念パーティー開催

インターナショナルプレジデントも来日



2017年11月に創立20年を迎え、インターナショナルプレジデントの Simon Thomas 氏と1st ヴァイスプレジデントの Roderick Levéjac 氏等をお迎えし、支えて下さった多くの皆様へ

の感謝を込めて、パーティーを開催いたしました。会場は、私どもと交流の深いレストランひらまつシリーズである、オーベルジュ・ド・リル札幌洋館の佇まいが美しいフレンチレストランです。玄関では、完成したばかりの創立20周年記念誌が配られました。貴重な記録と写真、年表で綴った、まさにレ・クレドール ジャパンの歴史です。

パーティーはレ・クレドール ジャパン プレジデントの住吉による開会挨拶から始まり、続いて Thomas 氏より20周年記念に向けての祝辞いただきました。

「我々は素晴らしい仕事をしているという事をお話したいと思います。20歳というのは、親元を離れ本気で働き始める節目です。イギリスでは21歳になれば様々な鍵を持ち、多くの事ができるようになります。クレドールメンバーとして私たちが最上を目指して挑戦ができるのです。先達に助けられ自立することができた今、日本チームとして前進するための次のステップを探さなければなりません。私はあなた方をとても誇りに思うと共に、20周年を共に祝えた事をとても嬉しく思います。」

続いて Levéjac 氏より乾杯のご挨拶をいただきました。

「私は皆様をとても誇りに思っております。日本セクションに感謝をこめて乾杯！Merci Beaucoup (ありがとうございます)」

レストランは特製のチョコレートケーキで祝ってくださいました。お食事は、旬のホタテ貝や鴨等北海道の食材が数多く供されました。

食事中、20年の思い出を写真で綴った素晴らしい出来栄のスライドが上映されました。当時の思いを懐かしみ、涙ぐむメンバーもいました。会の後半では OBOG、賛助会員からご祝辞をいただきました。お世話になった方々への感謝、ホテルや国を越え協力しあうというレ・クレドールの神髄に触れ日本セクション発足に向けて立ちあがったこと、日本にモデルがない中、手弁当で集まって方向を模索していたころの苦労話、ブダペストにて独立できた時の感謝等が披露されました。また、シャンパンをご協賛くださったサントリー酒類株式会社様からは、20年をウイスキーの熟成に例えたご祝辞を頂戴し、会は終始和やかで笑顔に包まれていました。最後は、阿部佳氏からの「歩んできた道を知り、素晴らしい未来のために自らも変化しながら進もう」という力強いメッセージで閉会いたしました。

インターナショナルメンバー、元メンバー、賛助会員多くの方からご祝辞を頂戴し、この場を借りて御礼申し上げます。

Vive Les Clefs d'Or !

(竹内郁代)

## 10月定例会開催

京都フリーペーパーの代表者を招聘

10月17日に京都にて開催され、18名が出席しました。報告事項に続いて、9月にインドのムンバイにて開催された第10回アジアコンGRESSの報告会が行われました。第二部では、英語版フリーペーパー

"ENJOY KYOTO"を発行されている株式会社 T-STYLE の徳毛様をお迎えして、同紙の紹介ならびに発行までの経緯などのお話を伺いました。



## 11月定例会開催

インターナショナルプレジデントがスピーチ

11月14日に札幌グランドホテルにて開催され、29名が出席しました。

20周年パーティーの為に来日された Thomas 氏と Levéjac 氏よりスピーチを頂きました。第二部では、北海道宝島旅行社の本間様をお迎えして、インバウンド客の受け入れ現状や同社が提供するユニークな体験ツアーのお話を伺いました。

